

授業のねらい

互いに分かり合うために大切なことについて考えさせ、相手の思いを理解しようとするとともに、相手からの理解を得られるような伝え方を実践する意欲を高める。

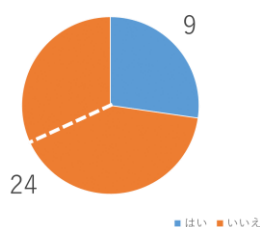
タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

- Forms で事前に学習課題についての意識調査を行い、Excel を使って集計した。
- 授業の導入で意識調査の結果をグラフで提示しながら、児童のコメントを紹介した。
- 展開の後半で、自己の振り返りの手掛かりにできるよう、調査結果を児童のタブレット端末でも閲覧できるようにした。

4. 相手の気持ちが分からずに、こまったり、すれちがったりしたことはありますか。*

- ☒ はい
☐ いいえ

③こまったり、すれちがったりしたことはありますか。(①+②)



児童の様子

- 意識調査は、キーボードやフリック入力を使ってスムーズに行っていた。
- グラフを見せると「すれ違っている人が意外と多い。」と、自分たちの想定と実態のずれを感じて、驚く声が聞かれた。
- 振り返り際には、全ての児童が、自分のタブレット端末で調査結果を見て、振り返りを書いていた。

成果

- 学級の実態が視覚的に分かったことで、学習課題について、学級で共有し、意欲を高めることができた。
- 振り返りの際に、自分のタブレット端末で調査結果を閲覧できたことで、自己の振り返りに役立てている様子が見られた。

課題

- タブレット端末の入力に個人差があるため、タイピングやフリック入力など、適した操作方法で慣れさせる必要がある。
- Forms の調査の結果を効果的に使うためには、質問項目の精選や、提示の仕方の工夫を考えることが必要である。